



# 安全データシート (SDS)

作成日 2012/05/30

改訂日 2016/07/06

## 1. 製品及び会社情報

製品名： B-808EX

会社名： ハリマ化成株式会社

住所： 兵庫県加古川市野口町水足671-4

担当部門： 安全環境品質管理室

電話番号： 079-422-3301

F A X 番号： 079-426-6008

緊急連絡電話番号： 079-422-3301

整理番号： 096511

推奨用途および使用上の制限：  工業用

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類：

物理化学的危険性：		
引火性液体：	区分2	
自然発火性液体：	区分外	
健康に対する有害性：		
急性毒性－経口：	区分外	
急性毒性－経皮：	区分外	
急性毒性－吸入（蒸気）：	区分外	
急性毒性－吸入（粉塵／ミスト）：	分類できない	
皮膚腐食性／刺激性：	区分2	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	区分2	
呼吸器感作性：	分類できない	
皮膚感作性：	区分外	
生殖細胞変異原性：	区分外	
発がん性：	区分外	
生殖毒性：	区分1	
特定標的臓器毒性（単回暴露）：	区分1	（中枢神経系）
	区分3	（気道刺激性，麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	区分1	（腎臓，中枢神経系）
吸引性呼吸器有害性：	区分外	
環境に対する有害性：		
水生環境急性有害性：	区分2	
水生環境慢性有害性：	分類できない	

### GHSラベル要素：

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

・ 危険

危険有害性情報：

- ・ 引火性の高い液体および蒸気
- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ 生殖能力または胎児への悪影響のおそれ
- ・ 臓器(中枢神経系)の障害
- ・ 長期にわたる、または反復暴露により臓器(腎臓、中枢神経系)の障害
- ・ 水生生物に毒性

注意書き：

安全対策：

- ・ 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 容器および受器を接地すること/アースを取ること。
- ・ 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。
- ・ 火花を発生しない工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・ 取扱い後は、よく洗うこと。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 指定された個人用保護具を着用すること。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

応急措置：

- ・ 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・ 火災の場合：炭酸ガス、泡、粉末を使用すること。
- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 特別な処置が必要である。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。つぎにコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- ・ 暴露した場合：医師に連絡すること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

保管：

- ・ 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・ 施錠して保管すること。

廃棄：

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一/混合物：

混合物

化学名または一般名：

アクリル樹脂溶液

成分：

No.	成分名	CAS No.	含有率(%)
1	アクリル樹脂	登録/非公開	≥38.0%
2	粘着付与剤樹脂	登録/非公開	7.0%
3	トルエン	108-88-3	41.0%
4	酢酸エチル	141-78-6	14.0%
5	酢酸ビニル	108-05-4	<1.0%

No.	化審法 官報公示整理番号	安衛法 官報公示整理番号	安衛法通知物質	化管法
1	登録/非公開	-	-	-

2	登録/非公開	—	—	—
3	3-2	—	407	1種-300
4	2-726	—	177	—
5	2-728	—	180	—

P R T R 該当物質合計：

成分名	含有率(%)
トルエン	41

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合：
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：
- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
  - ・ 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
  - ・ 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
  - ・ 直ちに、全ての汚染された衣類を取り除くこと。
- 目に入った場合：
- ・ 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
  - ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
  - ・ 直ちに、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合：
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
  - ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
  - ・ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤：
- ・ 炭酸ガス、泡、粉末
- 使ってはならない消火剤：
- ・ 水（棒状水、高圧水）
- 特有の消火方法、消火を行うものの保護：
- ・ 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
  - ・ 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
  - ・ 指定の消火剤を使用すること。
  - ・ 高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
  - ・ 消火活動は風上より行う。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
- ・ 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
  - ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
  - ・ 付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。
  - ・ 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 環境に対する注意事項：封じ込め及び浄化の方法／機材：
- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。
  - ・ 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
  - ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
  - ・ 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
  - ・ 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
- 技術的対策：
- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
  - ・ 容器はその都度密栓する。

- ・ 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
  - ・ 作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
  - ・ 工具は火花防止型のものを使用する。
  - ・ 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
  - ・ 取り扱い後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- 注意事項：
- ・ 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
- 保管：
- 技術的対策：
- ・ 日光の直射を避ける。
  - ・ 通風のよいところに保管する。
  - ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：
- ・ 取り扱い設備は防爆型を使用する。
  - ・ 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
  - ・ 液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースをとるように設備すること。
  - ・ 取り扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれぬような設備とすること。
  - ・ 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。（有機溶剤）
  - ・ タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。（有機溶剤）
  - ・ 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
  - ・ 腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること。
- 安衛法 管理濃度：

化学物質名	管理濃度
トルエン	20 ppm
酢酸エチル	200 ppm

許容濃度（ACGIH）：

化学物質名	T W A	STEL	Ceiling	皮膚	年度
トルエン	—	—	20 ppm	○	
	—	—	180 mg/m <sup>3</sup>	○	
酢酸エチル	—	—	400 ppm		
	—	—	1440 mg/m <sup>3</sup>		
酢酸ビニル	—	—	10 ppm		
	—	—	35 mg/m <sup>3</sup>		

発がん性（IARC）：

化学物質名	
トルエン	3
酢酸ビニル	2B

保護具：

- 呼吸器の保護具：
- ・ その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。
- 手の保護具：
- ・ 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 目の保護具：
- ・ 取り扱いには保護メガネを着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具：
- ・ 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
- その他：
- ・ 静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観：

物理的状态：	液体	
形状：	粘性液体	
色：	無色	
臭い：	有機溶剤臭を有する	
pH：	情報なし	
沸点、初留点、 沸騰範囲：	トルエン	111 °C
	酢酸エチル	77 °C
	酢酸ビニル	72 °C
引火点：	-4 °C	
自然発火温度 (発火点)：	トルエン	480 °C
	酢酸エチル	427 °C
燃焼または爆発範囲の 上限/下限：	トルエン	7.1 vol %/1.1 vol %
	酢酸エチル	11.5 vol %/2.2 vol %
	酢酸ビニル	13.4 vol %/2.6 vol %
蒸気圧：	トルエン	2933 Pa(20 °C)
	酢酸エチル	12452 Pa(25 °C)
	酢酸ビニル	11066 Pa(20 °C)
蒸気密度：	情報なし	
比重(相対密度)：	0.95(25°C)	
水に対する溶解度：	情報なし	
水に対する溶解性：	不溶	
溶媒に対する溶解度：	情報なし	
溶媒に対する溶解性：	有機溶剤 可溶	
オクタノール/ 水分係数：	トルエン	2.73
	酢酸ビニル	0.73
分解温度：	該当なし	
その他のデータ：	情報なし	

10. 安定性及び反応性：

安定性(危険有害 反応可能性)：	・ 高温では、増粘することがある。
避けるべき条件：	・ 高温の物体、火花、裸火、静電気火花
混触危険物質：	・ 知見なし
危険有害な分解性 生成物：	・ 熱分解や不完全燃焼により、黒煙と一酸化炭素を含む有害なガスを発生する。
その他：	・ 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性：	トルエン	LD50(経口)	4800 mg/kg
		LD50(経皮)	12000 mg/kg
		LC50(蒸気)	4800 ppm(4H)
	酢酸エチル	LD50(経口)	>5000 mg/kg
		LC50(蒸気)	14620 ppm(4H)
		酢酸ビニル	LD50(経口)
	LD50(経皮)		2335 mg/kg
	LC50(蒸気)		3184 ppm(4H)
	皮膚腐食性/刺激性：	トルエン	区分2
酢酸ビニル		区分2	
眼に対する重篤な損傷/ 刺激性：	トルエン	区分2 B	
	酢酸エチル	区分2 B	
	酢酸ビニル	区分2	
	酢酸ビニル	区分2	
変異原性(生殖細胞変異原性)：	酢酸ビニル	区分2	

発がん性：	酢酸ビニル	区分 2	
生殖毒性：	トルエン	区分 1 A	
特定標的臓器／全身毒性 －単回暴露：	トルエン	区分 1	(中枢神経系)
		区分 3	(気道刺激性, 麻酔作用)
	酢酸エチル	区分 3	(気道刺激性, 麻酔作用)
	酢酸ビニル	区分 3	(気道刺激性, 麻酔作用)
特定標的臓器／全身毒性 －反復暴露：	トルエン	区分 1	(腎臓, 中枢神経系)
	酢酸ビニル	区分 2	(呼吸器)
吸引性呼吸器有害性：	トルエン	区分 1	

1 2. 環境影響情報：

- ・ 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生環境有害性：

トルエン	3.5 mg/L
酢酸エチル	164 mg/L
酢酸ビニル	2.39 mg/L

水生環境有害性 (急性毒性)：

- ・ トルエン 区分 2
- ・ 酢酸ビニル 区分 2

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物：
- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
  - ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
  - ・ 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
  - ・ 廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。
- 汚染容器および包装：
- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
  - ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意：

- ・ 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- ・ 取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

国連分類：	3
国連番号：	1263
容器等級：	II
陸上輸送：	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送：	航空法の定めるところに従うこと。
指針番号：	128

1 5. 適用法令：

- 消防法：
- ・ 危険物 第四類 第一石油類 非水溶性 危険等級 II
  - ・ 指定数量：200L [火気厳禁]
- 船舶安全法：
- ・ 運輸省告示第549号 別表1 引火性液体類
- 毒物及び劇物取締法：
- ・ 非該当

---

化学物質審査規制法：	・ 優先評価化学物質 トルエン(41.0%) 酢酸ビニル(<1.0%)
労働安全衛生法：	・ 労働安全衛生法第28条 3 ・ 労働安全衛生法第57条 表示対象物 トルエン 酢酸エチル ・ 労働安全衛生法第57条の2 通知対象物 トルエン(41.0%) 酢酸エチル(14.0%) 酢酸ビニル(<1.0%) ・ 有機溶剤中毒予防規則 第二種
化学物質管理促進法：	・ 化学物質管理促進法 (P R T R) 第一種 300 トルエン(41%)
航空法：	・ 輸送許容物件 3. 引火性液体類
その他の法令：	・ 地方自治体の条例については、使用者においてお調べください。
悪臭防止法：	・ 悪臭防止法 特定悪臭物質 トルエン(41.0%) 酢酸エチル(14.0%)

---

## 16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先：

会社名：	ハリマ化成株式会社
住所（部署）：	兵庫県加古川市野口町水足671-4
担当部門：	樹脂・化成品開発室
電話番号：	079-422-3301
F A X 番号：	079-426-2650

ここに記載された情報は、正確を期していますが保証するものではありません。必要な安全な取扱いを決定する場合は、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。